



本が好き！でつながる

10代主体の図書館ボランティア「YA すたっふ」

YA（ワイエー）すたっふ

YA（ヤングアダルト）とは、子どもと大人の間、13～18歳くらいの若者のことを言います。平成23年、若い世代の図書館利用者を増やすために、市内在住・在学・在勤の中学生以上の10代を公募し、YA すたっふとして活動しています。主に YA 世代向けのイベント企画や運営、図書館便りの発行などを行っています。本が好きな人、図書館が好きな人、イベントの運営などに興味がある10代の方、和気あいあいと活動しているので、ぜひ私たちの活動を知ってください。

YA すたっふが設立した経緯を教えてください

社会全体で若者の読書離れが進む中、くにたち中央図書館では平成19年より、図書館の10代利用者のために図書コーナー（後にYAコーナー）を設置しました。その後平成23年、10代向けイベントの実行委員として、市内在住・在学・在勤の中学生以上の10代を公募し、そこからYA すたっふの活動がスタートしました。どのような活動をされているかを教えてください

YA すたっふは、現在、市内に住んでいる中学生8名、高校生7名の合計15名が在籍しています。学校も学年もバラバラですが、フランクな雰囲気です。月に一度ミーティングがあり、10代向けイベントの企画運営を中心に、10代向け図書館だより「YA ペーパー」の作成やおすすすめ本の紹介POP作成などを行っています。年に一度行う10代向けイベントは、作家の方をお招きしての講演会やワークショップ、謎解きイベント等を開催してきました。令和6年度は国立市がロケ地にもなった「謎解きはディナーのあとで」の小説家、東川篤哉さんをお招きして講演会を行いました。

活動を通して講演会を行いました。活動を継続されるにあたって工夫されたことを教えてください

ミーティングを通して、担当職員とYA すたっふがしっかりとコミュニケーションを取ることが大事にしています。また、YA すたっふが主体的に企画準備したイベントを継続して行うことで、メンバーは達成感ややりがいを得ることができ、メンバー同士の信頼関係も築くことができています。イベントの参加者が新たなメンバーとして加入してくれることもあり、活動の継続につながっています。

活動を通して印象に残っていることを教えてください

●好きな本や作家について、違う学校・違う年齢のメンバー同士で語り合え、本の面白さを共有できたことです。
●図書館のYAコーナーにある特集棚から、来館者が本を借りるのを見たときに、一生懸命選んでよかったと思いました。
●年に一度行う講演会の企画準備は、準備に時間をかけるため大変なこともあります。無事イベントが成功すると達成感があります。令和6年度は小説家の東川篤哉さんを講師にお招きし、大きな思い出となりました。

今後の活動及び展望などがありましたら教えてください

くにたち図書館では随時YA すたっふを募集しています。本が好きな人や図書館が好きな人、イベントの運営などに興味がある10代の方、一緒に活動しませんか。

※本記事はYA すたっふと図書館の職員で協力して作成しております。

◀令和6年度開催の講演会にて中央はご登壇いただいた小説家東川篤哉氏

